

平成 21 年度の VOC 排出インベントリ検討会の進め方(案)

平成 21 年度の VOC 排出インベントリ検討会は、平成 20 年度までの調査結果と残された課題を踏まえ、適切な目標設定をして検討を進めることとしたい。

1. 平成 20 年度までの主な成果

平成 20 年度までの VOC 排出インベントリ検討会による主な成果は表 1 に示すとおりである。これまでの検討を踏まえて推計された全国の固定発生源からの VOC 排出量は、平成 19 年度で約 115 万トンとされ、基準年(平成 12 年度)と比べて約 22%の排出削減が達成されたものと推計されている(図 1、図 2 及び表 2)。

表 1 VOC 排出インベントリ検討会の主な成果

実施年度	主な成果
平成 18 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 12 年度、平成 17 年度排出量の推計 ● 推計対象とする発生源品目の設定 ● 溶剤調査(H18)による溶剤の用途及び用途別出荷量の把握
平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 18 年度排出量の推計 ● 法令取扱分類別排出量の推計 ● 平成 12 年度、平成 17 年度排出量の推計精度の改善 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 問題点の整理と排出量等に基づく課題の優先順位付け ➢ PRTR 届出データとの比較による業種別排出量の妥当性の検証 ➢ 東京都モニタリングデータとの比較による不足物質の抽出 ➢ 炭化水素系洗浄剤の出荷量、洗浄装置の出荷台数による VOC 排出量の推計 ➢ ガソリンスタンドにおける蒸気回収装置の設置率の推計 ➢ 商社へのヒアリングによる溶剤の商流の実態の一部解明
平成 20 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 19 年度排出量の推計 ● 都道府県別排出量の推計 ● 大気汚染防止法に基づく届出データによる規制対象施設からの排出量推計(一部自治体分のみ) ● 平成 12 年度、平成 17～18 年度排出量の推計精度の改善 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 食料品、粘着剤・剥離剤等の排出量推計に関する情報の一部把握 ➢ 塗料、粘着剤・剥離剤、工業用洗浄剤の業種別配分に関する情報の一部把握 ➢ 全国のモニタリングデータとの比較による不足物質の抽出、及び当該物質に係る新規発生源の有無の確認 ➢ 全国のモニタリングデータとの比較による経年変化の妥当性の検証

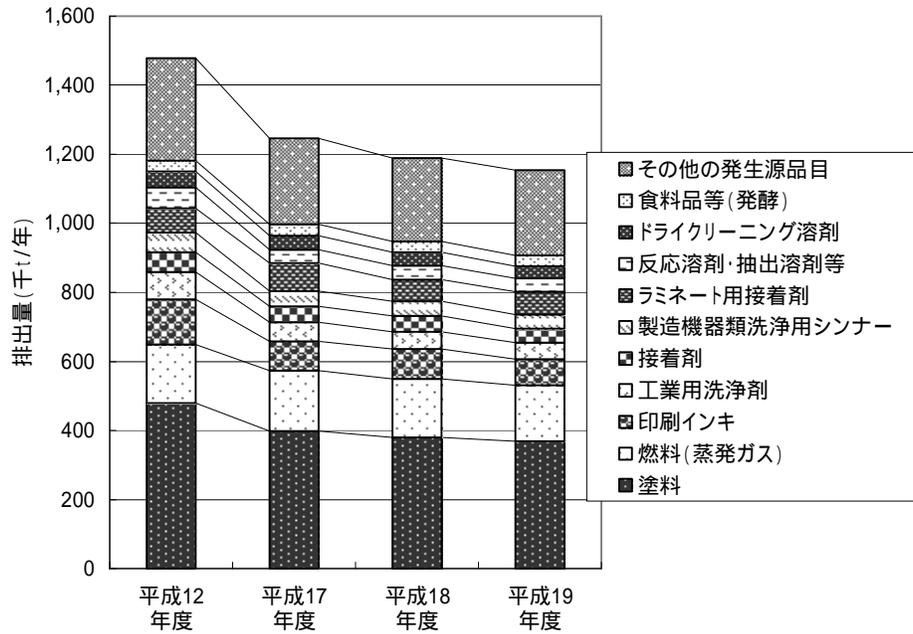


図 1 発生源品目別 VOC 排出量(平成 20 年度調査における推計結果)

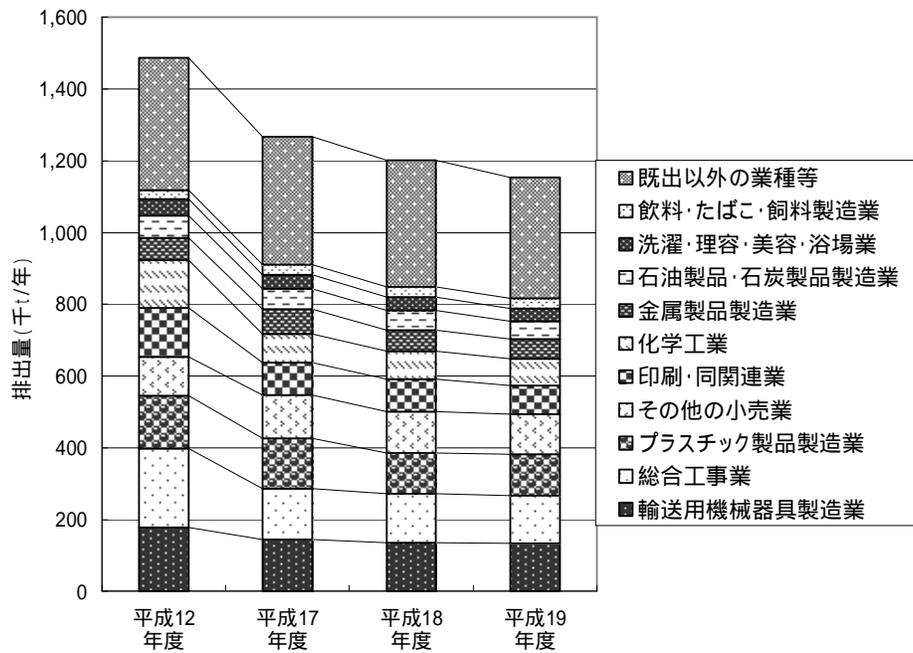


図 2 業種別 VOC 排出量(平成 20 年度調査における推計結果)

表 2 VOC 排出量と削減率(平成 20 年度調査における推計結果)

	平成 12 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
VOC 排出量(t/年)	1,487,340	1,266,037	1,200,922	1,153,577
基準年からの削減率	(基準年)	15%	19%	22%

2. 残された課題と今年度の目標等

VOC 排出インベントリは、事業者の自主的取組を中心とする VOC 排出抑制対策の進捗状況を把握し、それを評価するための基礎データを提供することを大目標に掲げて作成されてきた。

平成 20 年度までの検討で作成された VOC 排出インベントリは、その大目標の達成に向けて一定の役割を果たしているものの、まだ信頼性の面で不十分な点が残されている。したがって、今年度は図 3 に示す形で目標設定を行い、主要な課題について解決を図ることとしたい。

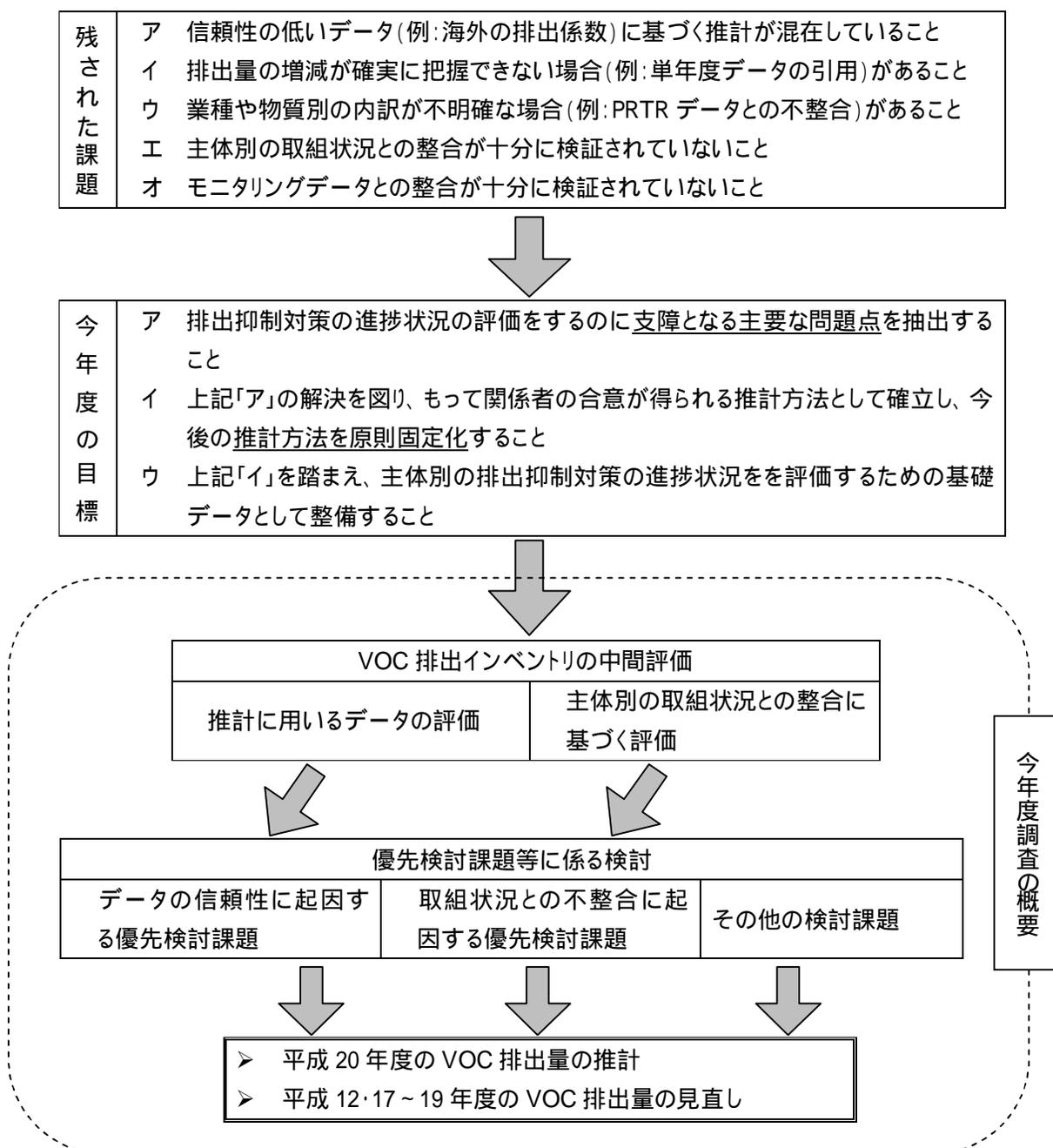


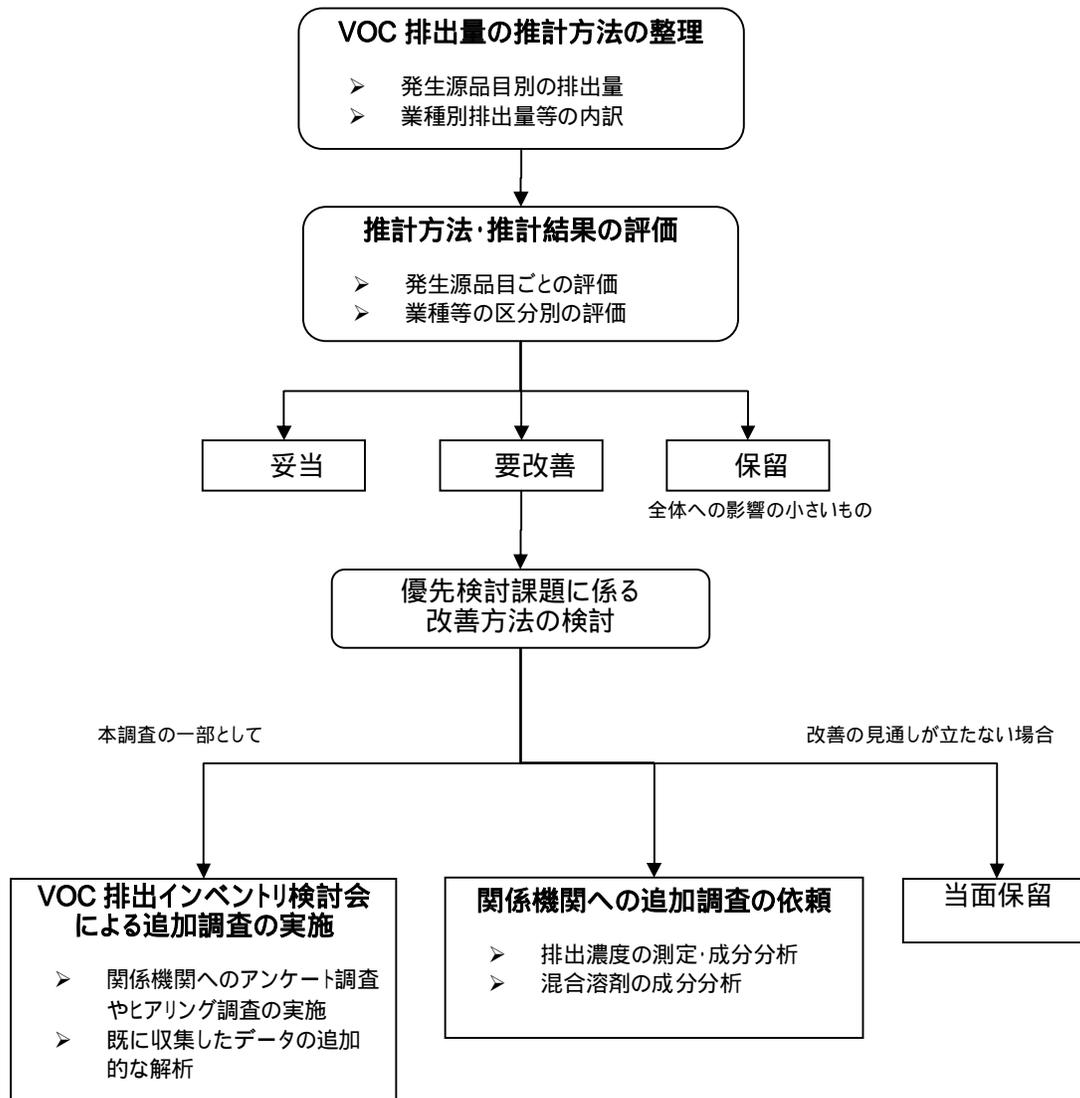
図 3 残された課題を踏まえた今年度の目標設定等の流れ

3. 平成 21 年度調査の実施内容

以上のような目標を達成するため、平成 21 年度調査の具体的な内容は表 3 に示すような形で進めることとしたい。また、中間評価のうち「推計に用いるデータの評価」によるものは、図 4 に示すような流れで進める方向で検討したい。

表 3 平成 21 年度調査の実施内容(案)

調査項目	実施内容
(1) VOC 排出 インベントリの 中間評価	<p>推計に用いるデータの評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 推計や配分に用いているデータを、捕捉率や経年変化情報の有無により評価 <p>→ 資料 3-1、資料 3-2、資料 3-3</p> <hr/> <p>主体別の取組状況との整合に基づく評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存調査に基づき、主な発生源品目や業種ごとのVOC排出量の推移を整理 ● 推計に用いている出荷量データと溶剤アンケートの整理結果を比較し不足する可能性のある物質を抽出 ● 業界団体等に整理結果を提示し、業界ごとの取組状況との整合性についてアンケートし、既存調査での問題点を抽出 <p>→ 資料 4</p>
(2) 優先検討 課題等 に係る検討	<p>データ評価結果に基づく推計精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問題のあるデータの改善や置換え等について情報収集を実施 ● (1)VOCインベントリの中間評価で得られた結果やその他の指摘等に基づいて、必要と考えられる調査を実施 ● 今後、本調査以外で行うべき調査内容についても提案 <p>→ 資料 3-2、資料 3-3(再掲)</p> <hr/> <p>法令取扱分類別のVOC排出量の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法令取扱分類別排出量の推計方法の検討 <p>→ (必要に応じて次回以降に検討)</p> <hr/> <p>溶剤アンケートの整理・活用方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (1) 等で利用するための、溶剤アンケートの整理・活用方法を検討 ● 溶剤の用途不明分等の扱いについて検討 <p>→ (必要に応じて次回以降に検討)</p> <hr/> <p>モニタリングデータの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● VOC成分別モニタリングデータを活用し、既存調査を検証 <p>→ (必要に応じて次回以降に検討)</p>



注: 「追加調査の実施」や「追加調査の依頼」の具体的な内容は、現時点で想定されるものを例示したものであり、実際の検討結果を踏まえて追加や削除等があり得る。

図 4 中間評価(推計に用いるデータの評価)を踏まえた調査のイメージ